

令和2年度 学校自己評価システムシート (滑川町立月の輪小学校)

目指す学校像	子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校		達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
重点目標	1 確かな学力の確立	○日々の授業の充実 ○学力と体力の向上		B	概ね達成 (6割以上)
	2 豊かな心と人権尊重の精神の育成	○人との関わりを豊かにし、思いやりの心を育む道德教育の推進		C	変化の兆し (4割以上)
	3 学校・家庭・地域との連携	○家庭・地域に見える教育の推進		D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実 施 日 令 和 3 年 2 月 1 2 日	
番	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 目 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	載	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>○授業規律は概ね身に付いており、落ち着いた授業態度である。</p> <p>○基礎・基本の定着は概ね身に付いている。</p> <p>▲学力面・意欲面で個人差が見られる。</p> <p>▲自分の考えを記述したり、まとめ、発表することが苦手である。</p> <p>○休み時間は、積極的に外に出て、遊んでいる。</p> <p>○肥満傾向は徐々に改善されている。</p> <p>▲ステイホームの影響か、体力の低下が心配される。</p>	学力の向上 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、問題解決的な授業や話し合い活動を積極的に取り入れ、授業改善を図る。 算数の少人数指導により、個に応じた指導を充実させ、各層の学力向上を図る。 業前や夏季休業日等の時間を活用し、基礎・基本の確実な定着に努める。 体育の授業で、補強運動やダッシュ等の運動を毎時間取り入れる。 家庭と連携し、学習の仕方や宿題の取り組み方、体力向上や望ましい生活習慣の定着等を伝え、協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関するアンケートで「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」の項目を95%以上にする。 基礎的基本的な事項の定着度を見る評価テストで平均90点以上を90%以上にする。 新体力テストの結果の総合評価(A+B+C)を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業がわかる」97%、「学習の仕方がわかる」96%で目標を達成した。「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計達成率が低い学年(2年)は93%であった。 評価テストの達成率は、目標に達しなかった。全国学調は未実施である。県学調については、どの学年とも多くの教科領域で県平均を下回った。国語・算数と学力の伸びは見られるが、算数の中位層が伸び悩んでいる。 体力テストは未実施である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に落ち着いた雰囲気の中で授業ができています。 コロナ禍で、話し合い活動が十分できない。ICT機器の有効活用を研究する。 「読む」「書く」力が課題である。学ぶ機会を増やし、身に付けさせる。 学力低位の児童に対しての個別指導が望まれる。 外遊びの推奨と体育授業の取組を工夫する。 	<p>○落ち着いた雰囲気、真剣に授業を受けている。</p> <p>○教材も工夫されていて、分かりやすい授業が行われている。</p> <p>○掲示物にコメントが書かれているなど、きめ細かい指導が行き届いている。</p> <p>○授業がしっかりできているにもかかわらず、学力調査の結果に表れていない。指導方法の工夫が必要なのではないか。</p> <p>○「授業がよく分かる」「授業の仕方が分かる」の質問で、少数だが「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と答えている児童へは個別の支援が必要である。</p>
2	<p>○道德の指定研究の成果と道德の教科化から、計画的な授業実践や道徳性は身に付いてきている。</p> <p>○道德教育の推進については、保護者との連携が図られている。</p> <p>▲児童の道徳性や道徳的実践には、個人差が見られる。</p> <p>○全体で揃ってのあいさつは、概ねできる。</p> <p>○多くはないが気持ちの良い返事やあいさつをする児童がいる。</p> <p>▲あいさつができない児童や地域や来校者に対するあいさつができない児童もいる。</p>	豊かな心の育成 規律ある態度の育成 (場に応じたあいさつ・返事)	<ul style="list-style-type: none"> 道德の研究の成果を教科化に伴い更に発展させるとともに、委嘱3年目の人権教育の取組を基に、児童の実態をふまえた指導計画を立て全教職員で取り組む。 考え議論する「道徳」の授業を目指した授業改善を図り、児童の道徳性や道徳的実践力を高めるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートで豊かな心や規律ある態度に関する項目において、達成率を85%以上にする。 学校評価に関わるアンケート「あいさつ」の項目で児童・保護者の達成率を90%以上にする。 学校生活アンケートで規律ある態度に関する項目において達成率85%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時休業のため授業時数が少ない中、道徳の授業は概ね確保できた。人権学習は、関係者のみであったが全クラスで授業公開を行った。命を大切にすることや人権尊重の達成率は96%、規律ある態度(県学調4~6年の全2項目)の達成率は82.4%である。 あいさつや返事の達成率は、児童が90%、保護者が84%である。県学調(4~6年)では、あいさつ72.0%、返事82.5%と課題である。 学校生活アンケート(あいさつ・返事・ルール・マナー)の達成率は、95%(児童)、91%(保護者)である。全体的には概ね達成している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、「考え、議論する」道徳が難しい場面もあった。指導要領の主旨や理念の実現に向けて授業研究を深めていく。人権教育は3年間の委嘱が終わる。継続した取組が望まれる。 規律ある態度は概ね達成できている。「あいさつ」「靴そろえ」など、達成率が低い項目がある。児童自身の意識の低さが課題である。学校生活全てにおいて指導していく。 	<p>○「あいさつ」についての評価が低い。長かった臨時休業明けは、例年になくあいさつをしない児童や声が小さい児童が多かった。</p> <p>○「あいさつ」については、継続した指導が必要である。大人が見本を見せることが必要である。まずは、身近な大人である先生方が、その手本となって欲しい。</p> <p>○豊かな心と人権尊重の精神を育成するために、コロナ禍の今をチャンスと捉えて、指導に活かすことも必要である。コロナ禍において心を育てるためにどんな指導ができるのか、考えて実践して欲しい。</p>
3	<p>○学校・学年日より、保健日より等により、保護者・地域に学校の教育活動の情報を定期的に提供している。</p> <p>○いくつかのクラスでは、学級通信を発行しクラスの様子を伝えている。</p> <p>○学校メールはほぼ全家庭が登録し、緊急時の連絡が迅速に伝えられている。</p> <p>▲アンケートや保護者の声からは、学校に対して様々な意見が窺える。</p> <p>▲学校HPの更新が少ない。</p>	開かれた学校づくり (家庭・地域に見える取組)	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観等を学期1回以上実施すると共に、学校日より、学年日より等を定期的に発行し、児童の活動の様子や学校の考え方など積極的に発信していく。 学校行事を積極的に公開し、児童の活動の様子を参観していただく。 職員もPTA行事や地域行事等に積極的に参加し、連携を図る。 保護者の意見を積極的に徴収し、改善に生かす。 学校HPの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関わるアンケートで積極的に「情報公開している」「PTA活動等に取り組んでいる」の項目の95%を維持する。 学校公開や授業参観等の参加率を全体の90%以上にする。 HP更新を月2回以上更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果では、「情報公開している」が94%、「地域活動やPTA活動に取り組んでいる」が96%となった。コロナ禍で教育活動が制限された中での結果であり、回答しづらい項目だった。 授業参観はできなかったが、休業中に1年生は保護者と顔を合わせる機会を持ち、連携を図った。 HP更新は、月に1度の学校だよりの掲載に止まった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校日より、学年日より等の通信類を発行し、学校の教育活動の周知を行う。特に保護者が子供の様子を見る機会が少ないため、通信類を有効に活用したい。 新しい形での授業参観や学校公開の実施を検討する必要がある。 HPの活用が望まれる。 	<p>○コロナ禍でPTA活動も制限される中、工夫しながら実践したことは評価できる。</p> <p>○今後もPTA活動を推進していくためには様々な工夫が必要になる。よりよいPTA活動となるように、知恵を出し合う必要がある。</p> <p>○HP、メールの有効な活用について、町と協議していく必要がある。</p> <p>○コロナ禍で、当初に立てた「評価指標」が厳しすぎるのではないかと、状況を踏まえて評価すれば、もっと良い評価になるのではないかと。</p>

○印：成果と思われること ▲印：課題と思われること